

令和8年網走市議会第2回定例会(6月)に係る

市議会答弁事項進捗状況一覧表

管理 番号	ページ	件 名	担当部課名
R8-01	1	ネーミングライツなどの新たな財源確保策の実施について	企画総務部 企画調整課
R8-02	2	企業版ふるさと納税の活用促進について（市外・道外企業へのアプローチについて）	企画総務部 企画調整課
R8-03	3	企業版ふるさと納税の活用促進について（寄附企業へのフィードバック体制の整備について）	企画総務部 企画調整課
R8-04	4	防犯カメラの設置について	市民環境部 市民活動推進課
R8-05	5	保育料の完全無償化に向けた対象人数、予算規模、およびふるさと納税の活用について	健康福祉部 子育て支援課
R8-06	6	里親家庭への支援（不安や負担への対応）と専門性の活用について	健康福祉部 子育て支援課
R8-07	7	「おてつたび」の積極的な導入支援について	観光商工部 観光課
R8-08	8	宿泊施設・飲食店不足について	観光商工部 観光課

市議会答弁事項進捗状況報告書

					管理番号	R8-01
議 会 区 分	令和8年 6月2定	質問議員	平賀議員【無会派】			
		担当部	企画総務部	担当課	企画調整課	
質疑種別		一般質問				
質問項目		ネーミングライツなどの新たな財源確保策の実施について				
質問要旨		新たな財源確保は重要。ふるさと納税や企業版ふるさと納税以外にも、未利用資産の売却や貸し付け、ネーミングライツ、広告掲載、パークPFI、成果連動型民間委託など。これら新たな財源確保策の検討状況と実施見通しは。				
答弁要旨		新たな財源確保策は、様々な手段が考えられる。それぞれ長所や短所、費用対効果、スポンサーの確保など課題を把握しながら、第6次行政改革推進計画の策定作業の中で、どの様な手法を導入検討とするのか整理する。				
対応状況・ 進捗状況		令和8年8月時点	対応検討中			
		新たな財源を6次行革検討の中で整理する。				

市議会答弁事項進捗状況報告書

					管理番号	R8-02
議 会 区 分	令和8年 6月2定	質問議員	石垣議員【希政会】			
		担当部	企画総務部	担当課	企画調整課	
質疑種別		一般質問				
質問項目		企業版ふるさと納税の活用促進について（市外・道外企業へのアプローチについて）				
質問要旨		市外・道外企業へどのようなアプローチを行っているか。 内閣府の地域別マッチング会、環境省北海道地方環境事務所の地域脱炭素マッチング会、道庁にも支援コーディネート窓口機能がある。これらを活用しているか。今後、トップセールスを含め、企業へのアプローチをどのように強化していく考えか。				
答弁要旨		当市へ営業活動のあった企業、取引があった企業、スポーツ合宿や誘致企業など約1,000社へダイレクトメールを送り、制度概要や当市の地方創生の取り組みをPR。マッチング会や支援窓口の活用はないが、今後、情報収集する。PR内容の改善、具体的な取り組みの提示による注目度の向上、農大など関係機関との連携によるPR先の拡大など訴求力を高めていく。				
対応状況・ 進捗状況		令和8年8月時点	対応検討中			
		マッチング会など情報収集。PR先の拡大へ取り組む。				

市議会答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R8-03
議 会 区 分	令和8年 6月2定	質問議員	石垣議員【希政会】		
		担当部	企画総務部	担当課	企画調整課
質疑種別		一般質問			
質問項目		企業版ふるさと納税の活用促進について（寄附企業へのフィードバック体制の整備について）			
質問要旨		企業へのフィードバックはどうしているか。寄付の活用状況や事業成果を説明する行動が、さらなる呼び水になる可能性がある。			
答弁要旨		これまで、公式サイトでのPR、感謝状の贈呈、多額の寄付には紺綬褒章の上申などの対応。今後、取組の詳細や成果など寄附者へ知らせ、よい関係を構築できるよう努める。			
対応状況・ 進捗状況		令和8年8月時点	対応検討中		
		企業へのフィードバックの実施について検討。			

市議会答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R8-04
議 会 区 分	令和8年 6月2定	質問議員	金兵議員【無会派】・石垣議員【希政会】		
		担当部	市民環境部	担当課	市民活動推進課
質疑種別		一般質問			
質問項目		防犯カメラの設置について			
質問要旨		【金兵議員】 ・通学路、学校周辺における防犯カメラの設置状況の把握について ・危険箇所と防犯カメラ設置エリアの検証について ・直営か町内会補助かの検討および、設置検討の材料とするための町内会等への意見募集について ・通学路や公園周辺の安全確保に向けた防犯カメラ整備計画策定の検討について 【石垣議員】 ・繁華街・商店街への防犯カメラ設置の現状と、公設カメラの設置や店舗等への補助制度の創設・拡充について			
答弁要旨		・先進自治体の事例を収集し、課題整理や仕組みづくりに向け、警察や庁内関係部署と連携・協議しながら検討を進める。 ・設置手法（市直営か補助か）、設置場所（危険箇所の考慮・地域意見の反映）、整備計画の策定等についても、検討の中で進めていく。			
対応状況・ 進捗状況		令和8年7月時点	対応済み		
		庁内WGの設置（8月上旬）：市民活動推進課を事務局とし、庁内関係部局で構成する「防犯カメラに関する庁内ワーキンググループ」を立ち上げ、各課へのニーズ・課題調査を実施する。 先進地視察の実施（8月中旬）：近隣先進自治体（大空町・紋別市）への実地視察を行い、導入経緯や維持管理手法等を調査する。 今後の予定：WGにて「整備・運用手法の比較検証」及び「運用ガイドライン（素案）」の協議を行い、政策検討会・新年度予算編成を経て、令和9年度の導入・運用を目指す。			

市議会答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R8-05
議会区分	令和8年 6月2定	質問議員	平賀議員【無会派】		
		担当部	健康福祉部	担当課	子育て支援課
質疑種別		一般質問			
質問項目		保育料の完全無償化に向けた対象人数、予算規模、およびふるさと納税の活用について			
質問要旨		保育料の完全無償化の実現に向けた財源確保の手段として、ふるさと納税の活用を提案する。 受入体制整備のために、ふるさと納税の積極的な活用が必要。 ふるさと納税には「子どもたちの活動支援のために」という寄附目的の項目もあるので、財源を特出ししてPRすることなども含めて、この課題解決に取り組んでみてはどうか。			
答弁要旨		・ 保育料を全面無償化した場合には、さらなる利用希望者の増加が想定されるため、利用者の増加に対応する各施設の定員や保育士人材などの「受け皿」を確保する必要がある。 ・ 無償化により利用希望者が増加し、待機児童が増えることは本末転倒になってしまうため、まずは受入体制の整備を図ったうえで全面無償化の検討に至るという段階を踏んでまいりたい。 ・ 具体的にどのような事業にふるさと寄附基金を活用するかという具体的な検討はしていないため、ここで答弁はできないが、例えば何か財源として使えるものがあれば、他市の事例なども含め今後研究してまいりたい。			
対応状況・ 進捗状況		令和8年8月時点	対応検討中		
		・ 実施事業におけるふるさと寄附基金の財源活用について、継続して財政当局と検討していく。			

市議会答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R8-06
議 会 区 分	令和8年 6月2定	質問議員	平賀議員【無会派】		
		担当部	健康福祉部	担当課	子育て支援課
質疑種別		一般質問			
質問項目		里親家庭への支援（不安や負担への対応）と専門性の活用について			
質問要旨		里親登録を完了した里親家庭が、子どもを迎え入れる準備ができていても児童相談所からの委託や一時預かりの要請が来ず、何ヶ月も待機状態が続いてしまう状況もある。これら十分な資質を持つ里親を市が実施する「子どものショートステイ事業」や「ファミリーサポートセンター事業」の担い手として、研修を免除し即戦力で参画してもらう仕組みを何か構築できないか。			
答弁要旨		・現在市が行っている「子育てサポートセンター事業（ファミリー・サポート・センター）」は、国の交付金を受けて実施しており、実施要綱上「協力会員」やこどもを預かる「両方会員」の研修は免除できない仕組み。 ・協力会員の担い手不足については課題であり、委託先である網走市社会福祉協議会のアドバイザーにおいて、担い手を増加させる取り組みを種々行っているところ。 ・議員お示しの、里親に子育て支援事業へ参画してもらう仕組みも一つの方法と考えられるので、効果的な周知方法などについて委託先や関係機関と意見交換を行ってまいりたい。			
対応状況・ 進捗状況		令和8年8月時点	対応検討中		
		・研修の受講免除は、現在の制度の仕組み上ではできない。 ・里親に子育て支援事業へ参画してもらう仕組みづくりについて、事業委託先である網走市社会福祉協議会と今後意見交換を行う。			

市議会答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R8-07
議 会 区 分	令和8年 6月2定	質問議員	平賀議員【無会派】		
		担当部	観光商工部	担当課	観光課
質疑種別		一般質問			
質問項目		「おてつたび」の積極的な導入支援について			
質問要旨		「おてつたび」は、単なる短期労働力の確保に留まらず、参加者が網走の熱烈なファン、すなわち「関係人口」へと成長する極めて有効なツール。 「おてつたび」の積極活用と事業者への周知徹底を網走市にも求めたい。 現在、多くの地元農家や事業者がこの仕組みの存在を知らない、あるいは利用手続きに不安を抱えている。市として、JAや漁協、経済団体等と連携した説明会の開催や、初期導入へのサポートを行うことで、地域全体で受け入れの土壌を整えるべきと考えるが、見解を伺う。			
答弁要旨		「おてつたび」は、季節的な人手不足解消のみならず、将来的な「ファン」「リピーター」「移住者」を増やす可能性を秘めた取り組みでもあると認識している。 市としては、庁内関係部署と事業者のニーズや課題の把握や情報共有を図りながら、必要に応じて情報提供などの取組について検討していきたいと考えている。			
対応状況・ 進捗状況		令和8年7月時点	対応済み		
		農林課・水産漁港課の関係部署へ情報共有を行った。 観光については、網走市観光協会に対し「おてつたび」の情報提供と課題等についての意見交換を行い、観光協会内において「おてつたび」の活用についての検討を依頼した。			

市議会答弁事項進捗状況報告書

				管理番号	R8-08
議 会 区 分	令和8年 6月2定	質問議員	栗田議員【同志会】		
		担当部	観光商工部	担当課	観光課
質疑種別		一般質問			
質問項目		宿泊施設・飲食店不足について			
質問要旨		宿泊は飲食店や物販など街の活性化につながる。消極的ではなく、積極的に誘致に取り組むべきではないか。 飲食店の不足も問題化している中で担当課としての取り組みはどうしているのか。 観光商工部として、しっかりと取り組んでもらいたい。			
答弁要旨		繁忙期はいっぱいだが、閑散期は空きがある状況でまずは平準化を図る事が必要。閑散期への誘客促進事業を展開しており、平準化が図られる中で新たな宿泊施設が進出してくれることを望んでいる。 現在、新たなホテルが建設される予定。事業者も経営状況や考え方がある中、積極的に進出してもらいたいのはもちろんだが、情報収集した中で進出の意向がある場合は迅速なアプローチに努めていきたい。 積極的な誘致について、手法も含めどのようにすれば効果的なものになるか考えたい。 飲食店不足の対策については、一朝一夕で解消できるものではないが、「新規出店の促進」と「既存店舗の受け入れ態勢の強化」の両面から、飲食店不足の解消に向けた取り組みを進めていく必要がある。 新規出店の促進については、網走商工会議所などと緊密に連携し、飲食業での起業・開業を目指す方へのリサーチや経営相談をはじめ、起業・事業展開支援補助などを通じて、新たな飲食店の参入を継続的に促す支援に努めていく。 今後も、飲食業界や商工会議所、観光協会などの関係団体と情報交換しながら、魅力的な食空間の確保と飲食店街の活性化に向けて、実効性のある施策を検討していきたい。			

対応状況・ 進捗状況	令和8年7月時点	対応検討中
	まずは閑散期の対策を進め、観光客入込の平準化を図ることが重要で、新規開業や設備投資をする事業者に対し、単に開業を要請するだけでは進出は期待できないため、確実な需要を作りだすことが求められると考える。 網走ならではの美味しい食と銘酒を求めて、観光客が自然と市内の飲食店へと足を運びたくなるような「酒と食のプロモーション」を強化するとともに、これらを提供する飲食店がしっかりと潤い、持続していける環境を整えることが、結果として店舗の維持や新規出店への呼び水になることから、こうした施策を推進していく。 関係機関と実効性のある施策を協議していくほか、10月に予定している「宿泊税の使途についての検討会議」においても委員から意見を聴取し、有効な対策等を検討する。	